

SEIKO MECHA SPORTS

ダイバー（自動巻）

取扱説明書 INSTRUCTIN

4S15 ダイバー

このたびはセイコーメカニカルウオッチ4S15をお買い上げいただきありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ正しくご愛用くださいますようお願い申し上げます。なお、この取扱説明書をお手もとに保存し、必要に応じてご覧ください。

セイコー株式会社

本社 東京都中央区京橋2丁目6番21号 〒104

- セイコー製品について、修理その他のご相談は、「お買い上げ店」またはお近くの「セイコー取扱店」でうけたまわっております。なお、ご不明の点は下記へお問い合わせください。
- 「セイコー株式会社 お客様相談室」
〒104 東京都中央区京橋 2-8-5 (京橋富士ビル) (03)3535-2211
〒550 大阪市西区新町 1-4-24 (大阪西橋第一生命ビル) (06)538-6541
- 株式会社セイコーサービスセンター お客様相談係
〒060 札幌市中央区南一条西 7-20-1 (札幌スカイビル) (011)231-0615
〒980 仙台市青葉区中央 2-7-28 (セイコー仙台ビル) (022)227-4171
〒460 名古屋市中区錦 3-10-14 (東和錦ビル) (052)971-7474
〒730 広島市中区三川町8-21 (広島美蓉ビル) (082)248-1020
〒810 福岡市博多区中洲 5-1-22 (松月堂ビル) (092)271-2538

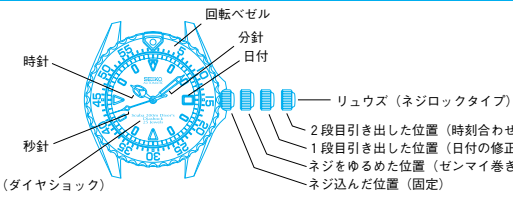
目次

- 使用禁止事項（ご使用前に必ずお読みいただきたいこと）
- 製品の説明
 - 2-1 各部の名称とはたらき
 - 2-2 自動巻き式機械時計の取扱いかた
 - 2-3 時刻・日付表示の合わせかた
 - 2-4 回転ベゼルの使いかた
 - 2-5 夜光（ルミブライト）について
- ダイビング使用上のご注意とお手入れの方法
 - 3-1 潜水前のご注意
 - 3-2 潜水中のご注意
 - 3-3 潜水後のお手入れの方法
- 使用上のご注意とお手入れの方法
- こんな時には
- アフターサービスに関する事項
- 補修用性能部品に関する事項
- 製品の仕様

1. 使用禁止事項（ご使用前に必ずお読みいただきたいこと）

- ヘリウムガスを使用する「飽和潜水」には絶対に使用しないでください。（一般スポーツダイバー用です）
- スポーツダイビングのルールを守り、安全なダイビングを心がけてください。

2. 製品の説明 2-1 各部の名称とはたらき



※ Diashockとは機械時計の駆動体の中で、特に衝撃や震動に強いテンプをさまざまなショックから守る装置の名称です。

2-2 自動巻き式機械時計の取扱いかた

- この時計は自動巻き式機械時計（手巻き付き）です。
- ゼンマイは時計を腕につけた状態では通常の腕の動きで自然に巻くことができます。また、リュウズを左にまわしてネジをゆるめ、リュウズをまわしてゼンマイを巻くこともできます。
- 止まっている時計をお使いになるときは、リュウズをまわすか時計を振って時計を始動させてください。秒針が動きだしたら日付と時刻を合わせて腕におつけください。



左にまわすとネジがゆるみます。



右にまわす

- この時計は、ゼンマイが十分に巻き上げられた状態で約40時間動き続けます。（ゼンマイの巻き上げが不足すると進み遅れの原因になりますので、1日8時間以上携帯することをおすすめします。）なお、時計を腕につけないで使用する場合は毎日一定の時刻にゼンマイを十分に巻いてご使用ください。

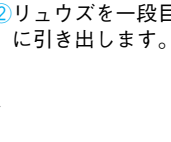
2-3 時刻・日付表示の合わせかた

この時計には、日付表示機能がついています。24時間に一回日付を一日分送るようになっています。日付は、午前0時ごろ送るようになっています。よって、午前午後をまちがえて時刻合わせしてしまうと、お昼の12時に日付が変わってしまいます。

- リュウズを左にまわしてネジをゆるめます。
- リュウズを一段目に引き出します。
- リュウズを回することで日付の修正ができます。前の日の日付に合わせます。（ゼンマイと一緒に巻けます）たとえば、今日が*月6日とすると5日に合わせます。



左にまわすとネジがゆるみます

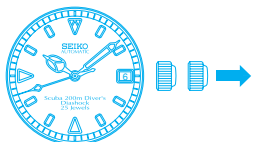


右回転 日付の修正

左回転 フリー（機能無し）

※時刻表示が午後9時から午前3時までの間は、日付の修正はしないでください。この時間帯に日付を修正しますと、翌日になっても日付が変わらないことがあります。

- リュウズを二段目まで引き出します。秒針が「12時」の位置にきたときに引き出してください。リュウズを回転させ、針が進む方向にまわし、日付が今日の日付になるまでまわしてください。日付が変わると「午前」です。さらに進めて現在の時刻に合わせます。



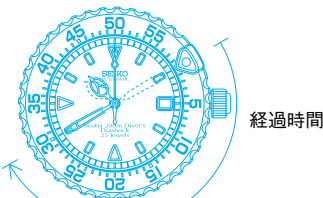
※機械時計は、クォーツ時計と機構が異なりますので、時刻を合わせる際には、針をいったん正しい時刻よりやや遅らせておき、それから進めて合わせるようにしてください。

- 時報と同時にリュウズを押し込んでください。
- リュウズを押しつけながら右に止まるところまでしっかりネジ込んでください。
- 月末の日付修正について
2月（1カ月が28日、うるう年は29日）と小の月（1カ月が30日）では日付の修正が必要になります。〈小の月の翌月1日の朝、日付を修正する場合〉
①「1日」ではなく「31日」が表示されています。リュウズを一段目に引き出してください。
②リュウズを回転させ、日付を「1日」に合わせ、リュウズを押しつけながら右に止まるところまでしっかりネジ込んで完了です。

※時計の針が午後9時から午前3時の間にあるときは、日修正は避けてください。故障の原因になります。

2-4 回転ベゼルの使いかた

下図は10時10分潜水開始（位置）後、30分経過したことを示しています。



経過時間

- 経過時間の測定
回転ベゼルの動かしマークを分針に合わせてください。ある時間が経過した後に、分針の指す回転ベゼル上の目盛を読めば、その時までの経過時間がわかります。
- ※回転ベゼルの、時計と逆まわりしか回転しませんので、無理に時計と同じ方向にまわさないでください。また、1分単位のクリック装置がついていますので、目盛のセットがしやすいと同時にショックなどで不用意に回転することを防ぎます。

2-5 夜光（ルミブライト）について

【お買い上げの時計がルミブライトつきの場合】
「ルミブライトは、放射能等の有害物質を全く含んでいない、環境・人に安全な蓄光（蓄えた光を放出する）物質です。」

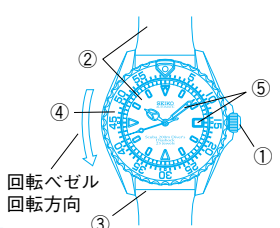
ルミブライトは、太陽光や照明器具の明かりを短時間（約10分間：500ルクス以上）で吸収して蓄え、暗い中で長時間（約5～8時間）光を放つ夜光です。なお、蓄えた光を発光させているので輝度（明るさ）は時間が経つに従ってだんだん弱まってきます。また、光を蓄える際のまわりの明るさや時計との距離、光の吸収度合により、光を放つ時間には多少の誤差が生ずることがあります。特に暗い環境での潜水の際は、光が十分に吸収されていないと水中で発光しない場合があります。最低でも上記条件の光をあてるか、水中ライトを併用して潜水される様、十分ご注意ください。

- <照度データ>（目安値）
- A. 太陽光〔晴天〕100,000ルクス 〔曇天〕10,000ルクス
 - B. 屋内（昼間窓際）〔晴天〕3,000ルクス以上 〔曇天〕1,000ルクス～3,000ルクス 〔雨天〕1,000ルクス以下
 - C. 照明（白色蛍光灯40Wの下で）〔1m〕1,000ルクス 〔3m〕500ルクス（通常室内レベル）〔4m〕250ルクス

3. ダイビング使用上のご注意とお手入れの方法

3-1. 潜水前のご注意 次の項目を点検してください

- リュウズのネジをしっかりと締めてあるか。
- バンド、ガラスにヒビ、キズ、カケ等の異常がないか。
- バンドと本体がしっかりと固定されているか。（バネ棒、止め金等）
- 回転ベゼルが正常に回転するか。（時計と逆まわりが正常な回転方向です）
- 時刻・カレンダーが正確にセットされているか。



※ヘリウムガスを使用する飽和潜水には使用できません。万一、異常が認められた場合は、お買い上げ店またはセイコー取扱店にご相談ください。

3-2 潜水中のご注意

- 水中でのリュウズ操作はしないでください。
- 岩などにつぶけないように注意してください。
- 回転ベゼルは水の中ではやや回転がきつくなることがありますが、異常ではありません。



3-3 潜水後のお手入れの方法

- 時計に付着した海水、泥、砂等は、リュウズがしっかりと締めてあるか確認の上、真水でよく洗い落としてください。
- 乾いた布等で水分を完全に拭き取ってください。



- 時計は、薬品類に触れさせないでください。
- 一般的なお手入れに関しては、4.「使用上のご注意とお手入れの方法」を参照してください。

5. こんな時には

現象	考えられる原因	このようにしてください
・時計が止まった	・ゼンマイが巻かれてない	・手で巻くか、または数回振れば動きだします。それでも、動かない場合はお買い上げ店またはセイコー取扱店に点検調整をご依頼ください。
・時計が進む/遅れる	・暑いところ、または寒いところに長くおいた ・磁気を発生するもののそばにおいた ・落としたり強くぶついたり、または激しいスポーツをしたとき ・強い振動が加えられたとき	・精度は、常温にもどれば元にもどります。 ・精度は、磁気の発生するものから放せば元にもどります。 ・元にもどらない場合は、お買い上げ店またはセイコー取扱店に点検調整をご依頼ください。 ・精度は、元にもどりません。お買い上げ店またはセイコー取扱店に点検調整をご依頼ください。
・日付が日中に変わる	・時刻合わせが違っている	・12時間分、針を進めてください。
・ガラスのくもりが消えない	・水分がついたままリュウズをまわした、引き出した	・お買い上げ店またはセイコー取扱店に点検調整をご依頼ください。

※その他の現象は、お買い上げ店またはセイコー取扱店にご相談ください。

6. アフターサービスに関する事項

- 万一故障した場合には、お買い上げ店またはお近くのセイコー取扱店にお持ちください。保証期間内の場合は保証書を添えてください。
- 修理期間経過後の修理およびこの時計についてのご相談はお買い上げ店またはお近くのセイコー取扱店でうけたまわっております。なお、ご不明な点は「セイコー株式会社お客様相談室」または「セイコーサービスセンターお客様相談係」へお問い合わせください。
- 保証内容は保証書に記載したとおりですので、よくお読みいただき大切に保管してください。

7. 補修用性能部品に関する事項

- この時計の補修用性能部品の保有期間は通常7年間を基準としています。正常なご使用であれば、この期間中は原則として修理可能です。（補修用性能部品とは、時計の機能を維持するのに不可欠な修理用部品です。）
- 修理可能な期間はご使用条件によりいちじるしく異なり、精度が元どおりにならない場合がありますので、修理ご依頼の際にお買い上げ店とよくご相談ください。
- 修理のとき、ケース・文字板・針・ガラス・バンドなどは一部代替品を使用させていただくことがありますのでご了承ください。

4. 使用上のご注意とお手入れの方法

防水性について
この時計は、200m潜水防水構造を有した、水深200mの水圧に耐えるダイバーズウォッチです。リュウズはネジロックタイプになっています。ご使用の際は、ネジをしっかりと締めてご使用ください。



ケース・バンドについて
バンドにヒビ等の異常があるときは、そのまま使用せず、新しいバンドと交換してください。また、その際は時計本体とバンドをつなぐバネ棒の交換も一緒にご用命ください。

かぶれやアレルギーについて
①通常、陸上で使用する際は、通気性をよくするため、バンドに指1本入る程度の余裕を持たせてご使用ください。
②ケースやバンドは肌着類と同様に直接肌に接しています。汚れたままにしておくことで衣類のそで口を汚したり、皮ふの弱い方はかぶれたりすることがありますので、常に清潔にしてご使用ください。
※万一、肌などに異常を生じた場合は、ただちに使用を中止し、医師にご相談ください。

温度について
この時計は、常温（5℃～35℃の範囲内）で安定した時間精度が得られるように調整してあります。

定期点検について
長くご愛用いただくために、2年に1度程度の点検をおすすめします。定期的な点検により目に見えない部分が原因となる損傷を未然に防ぎ、より安心してご使用いただけます。

直射日光が長時間あたったり、高温になる所に置かないでください。
寒い所に長く置かないでください。
保油状態・汗や水分の侵入などをチェックするため、点検の受付はお買い上げ店またはセイコー取扱店でいたしますが、点検作業はすべてセイコーサービスセンターでおこないます。点検の結果によっては調整・修理を必要とする場合があります。

磁気について



精度を狂わせる恐れがありますので、磁気を発生するもののそばには、近づけないでください。

ショックについて

精度を狂わせる恐れがありますので、落としたり強くぶついたりはもちろんのこと、激しいスポーツでのご使用はお避けください。

8. 製品の仕様

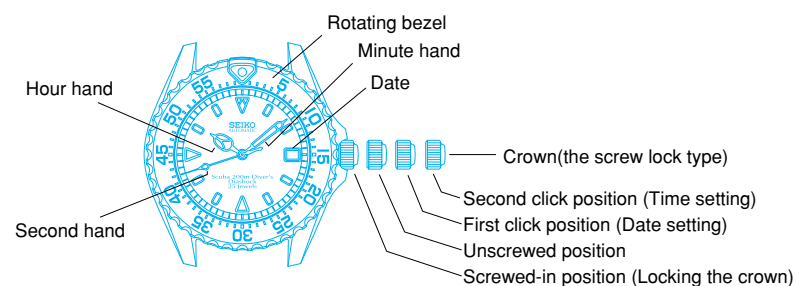
- 振動数…………… 28,800振動/時間
- 携帯精度…………… 常温（5℃～35℃）における携帯 日差 ±25秒～±15秒
- 駆動方式…………… ゼンマイ巻〔自動巻き（手巻き付き）〕
- 使用石数…………… 25石
- 耐磁性能…………… 4,800A/m（60ガウス、JIS・ISO両規格に準ずる）
- 外装防水性能…………… 200m空気（スクーバ）潜水防水（JIS 1種潜水時計200m）
- 外装仕様
 - 耐水性
空気ボンベを使用したスキューバダイビング向け仕様として、水深200メートルに十分耐えられる高度の耐圧性と、長時間の水中使用に耐えられる優れた防水性とを合わせ備えています。
 - 形状
ケース、バンド、ビジョウにいたるまで、すべて丸味をもった形状として、肌やスーツを傷つけないよう配慮してあります。
※携帯精度はメカニカルウォッチの特性上、ご使用になる条件（携帯時間、腕の動き、ゼンマイの巻き上げ具合等）によっては、上記精度の範囲を越える場合があります。
※上記の製品は改良のため予告なく、変更することがあります。

CAUTION (Be sure to observe the following.)

- This watch is intended for use in sports diving (no-decompression diving). Never use the watch in decompression diving, saturation diving using helium gas and diving at altitudes.
- Abide by the rules of sports diving for safety's sake.

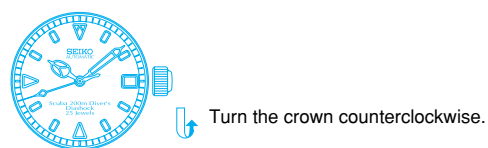
METHOD OF OPERATION

Display and crown operation



How to use the automatic mechanical watch

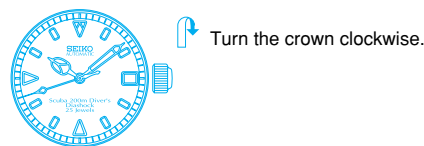
- This is an automatic mechanical watch with manual winding mechanism.
- If the watch is worn on the wrist, the mainspring will be wound automatically through normal wrist movement. It can also be wound up by turning the crown. To do so, unscrew the crown by turning it counterclockwise.



- To start the watch after it stops completely, wind it up either by turning the crown or swing it from side to side until the second hand starts moving. Then, set the time and date before wearing the watch on the wrist.



- To wind up the watch, unscrew the crown by turning it counterclockwise, and then turn the crown clockwise slowly. The watch cannot be wound by turning the crown counterclockwise. About 35 turns of the crown winds up the watch fully. Please note that the crown can be turned even after the watch is wound up fully. While turning the crown, therefore, count the number of turns given to the crown.



- Once the watch is wound up fully, it operates for about 40 hours. (If the watch is used without being wound up fully, gain or loss of the watch may result. To avoid this, wear the watch for more than 8 hours a day.) If the watch is used without wearing on the wrist; if it is used on the desk, for example; be sure to wind it up fully every day at a fixed time.

Time/date setting

The watch is provided with a date function and is so designed that the date changes once every 24 hours. The date changes around 12 o'clock midnight. If AM/PM is not properly set, the date will change at 12 o'clock noon.

- Unscrew the crown by turning it counterclockwise.
 - Pull out the crown to the first click.
 - Turn the crown counterclockwise.
 - Turn the crown clockwise. Clockwise: Date setting
 - Turn the crown counterclockwise. Counterclockwise: Free
- The date can be set by turning the crown clockwise. Turn it clockwise until the previous day's date appears. For example, if today is the 6th of the month, first set the date to "5".

Notes
Do not set the date between 9:00 p.m. and 3:00 a.m. Otherwise, the date may not change properly.

- Pull out the crown to the second click when the second hand is at the 12 o'clock position. Turn the crown to advance the hands until the date changes to the next. The time is now set for the A.M. period. Keep advancing the hands until the correct time.

Notes
To set the time, first set the hands to the time a few minutes behind the correct time, and then, advance the hands to the exact time.

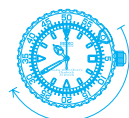
- Push the crown back in to the normal position in accordance with a time signal.

- While pressing the crown, turn it clockwise until it locks in place.
 - Date adjustment at the end of the month**
It is necessary to adjust the date at the end of February and 30-day months.
<To adjust the date in the A.M. period on the first day of a month following a 30-day month>
 - The watch displays "31" instead of "1". Unscrew the crown by turning it counterclockwise, and then, pull it out to the first click.
 - Turn the crown to set the date to "1" and then push the crown back in to the normal position. While pressing the crown, turn it clockwise until it locks in place.

Notes
Do not set the date between 8:00 p.m. and 3:00 a.m. as this will cause a malfunction.

How to use the rotating bezel

The illustration below indicates that 30 minutes have elapsed since the diving started at 10:10 ("10" mark indicated the time when you started diving.)



- How to measure the elapsed time**
Turn the rotating bezel to set "10" mark to the minute hand. After certain amount of time elapsed, read the graduation on the rotating bezel which the minute hand points to. The elapsed time is indicated.
- * For safety's sake, the rotating bezel rotates only counterclockwise with clicks at one-minute steps. Therefore, accidental rotation of the bezel is prevented, and also the bezel can be easily set to measure the elapsed time.**

Note on luminous paint (LumiBrite)

[IF YOUR WATCH HAS LUMIBRITE]
[LumiBrite is a luminous paint that is completely harmless to human beings and the environment, containing no noxious materials such as radioactive substances.]

LumiBrite absorbs and stores in a short time the light energy of sunlight and electric lighting and releases it in the form of visible light for an extended period of time in the dark. For example, exposure to a fluorescent lamp of 500 lucas or higher for at least 10 minutes will enable LumiBrite to emit sufficient light for 5 to 8 hours. LumiBrite cannot generate light by itself but emits light utilizing the stored energy supplied by an external light source. Accordingly, the intensity of the light decreases gradually over time. The duration of the emitted light may also differ slightly depending on such factors as the brightness of the light to which it is exposed, the distance from the light source to the watch and the extent to which the light energy is absorbed and stored. When you make a dive in the dark water, LumiBrite may not emit light unless it absorbs and stores light sufficiently. Before diving, therefore, be sure to expose the watch to light under the condition specified above so that it fully absorbs and stores light energy. Otherwise, use the watch together with an underwater flashlight.

<Reference data on the luminance>

A. Sunlight	[Fine weather]: 100,000 lux [Cloudy weather]: 10,000 lux
B. Indoor (Window side during daytime)	[Fine weather]: more than 3,000 lux [Cloudy weather]: 1,000 to 3,000 lux [Rainy weather]: less than 1,000 lux
C. Lighting apparatus (40-watt daylight fluorescent light)	[Distance to the watch: 1m]: 1,000 lux [Distance to the watch: 3m]: 500 lux (average room luminance) [Distance to the watch: 4m]: 250 lux

PRECAUTIONS ON USING THE WATCH IN DIVING AND CARE OF THE WATCH AFTER DIVING

Precautions before diving Check the following:

- The crown is screwed in completely.
- There are no visible cracks in the glass.
- The band is securely fastened to the watch case.
- The rotating bezel is smoothly turning counterclockwise.
- The time and calendar are appropriately set.

Notes
1. Do not use the watch in saturation diving using helium gas.
2. If there are any malfunctions, contact the retailer from whom the watch was purchased or a SEIKO dealer.

Precautions while diving

- Do not operate the crown when the watch is in water.
- Take care not hit the watch against hard objects such as rocks.
- Bezel rotation may become slightly harder in the water but this is not a malfunction.

Care of the watch after diving

- After checking that the crown is screwed in completely, wrinse the watch in fresh water, and wash out all seawater, soil, sand, etc.
- Wipe the watch thoroughly dry with a dry cloth, etc.

- Do not expose the watch to chemicals.
- For the care of the watch in general, refer to "5. PRECAUTIONS ON USING THE WATCH AND CARE OF THE WATCH".

TROUBLESHOOTING TIPS

Trouble	Cause	Solution
The watch stops operating.	The watch is not wound up.	Turn the crown to wind up the watch or swing the watch. The watch will start. If the watch does not start, have the watch checked by the retailer from whom the watch was purchased or a SEIKO DEALER.
The watch gains/loses time.	The watch has been left in extremely high or low temperatures for a long time.	This condition will be corrected when the watch temperature returns to normal.
	The watch was brought into close contact with a magnetic object.	This condition will be corrected when the watch is kept away from close contact with the magnetic source.
	You dropped the watch, hit it against a hard surface or wore it while playing active sports. The watch was exposed to strong vibrations.	This condition will not be corrected. Have the watch checked by the retailer from whom the watch was purchased or a SEIKO DEALER.
The glass is blurred and the blur persists for a long time.	Water got inside the watch due to the deterioration of the gasket, etc.	Have the watch checked by the retailer from whom the watch was purchased or a SEIKO DEALER.
The date changes in the daytime	The hands are not installed properly.	Advance the hand 12 hours.

* For the solution of troubles other than above, contact the retailer from whom the watch was purchased or a SEIKO DEALER.

REMARKS ON AFTER-SALES SERVICING

- If the watch requires service, take it to the retailer from whom the watch was purchased. If the trouble occurs within the guarantee period, submit the certificate of guarantee together with the watch.
- For repair after the guarantee period or for any other information regarding the watch, contact the retailer from whom the watch was purchased or the "CUSTOMER SERVICE DEPARTMENT" of SEIKO CORPORATION.
- Guarantee coverage is spelled out in the certificate of guarantee. Please read it carefully and keep the certificate for ready reference.

REMARKS ON REPLACEMENT PARTS

- SEIKO makes it policy to usually keep a stock of spare parts for its watches for 7 years. In principle, your watch can be reconditioned within this period if used normally. (Replacement parts are those which are essential to maintaining the functional integrity of the watch.)
- The number of years that a watch is considered repairable may vary greatly depending on the conditions under which it was used, and normal accuracy may not be achieved in some cases. We recommend, therefore, that you consult the retailer from whom the watch was purchased when having them repair your watch.
- The case, dial, hands, glass and bracelet, or parts thereof may be replaced with substitutes if the originals are not available.

PRECAUTIONS ON USING THE WATCH AND CARE OF THE WATCH

WATER RESISTANCE

This is a diver's watch designed and manufactured to withstand water pressure to a depth of 200 m. The crown is of the screw lock type, and therefore, be sure to screw the crown in completely before using the watch.



CARE OF THE CASE AND BRACELET

- Adjust the bracelet so that there is a little clearance between the bracelet and your wrist to avoid accumulation of perspiration.
- If a crack or the like is found in the bracelet, take off the watch and have the bracelet replaced with a new one.
- When replacing the bracelet, also have the push pins connecting the case and bracelet replaced with new ones.

RASH AND ALLERGY

- Adjust the bracelet so that there is a little clearance between the bracelet and your wrist to avoid accumulation of perspiration.
- Because the case and bracelet touch the skin directly, it is important to clean them regularly. If not, shirt sleeves may be stained, and those with delicate skin may develop a rash.

* If you develop any skin reactions, take off the watch and consult a doctor immediately.

TEMPERATURE

The watch is so designed that it works with stable accuracy at a normal temperature range

× ×

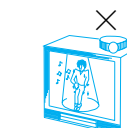
Do not expose the watch to direct sunlight or extreme heat.

Do not leave the watch in a cold place for a long time.

of between 5°C and 35°C

* If the watch is left in extremely high or low temperatures, a malfunction or a time loss/gain may result, or the watch may not operate properly.

MAGNETISM



The watch will be adversely affected by strong magnetism. Keep it away from close contact with magnetic objects.



SHOCKS

The watch will be adversely affected by strong shocks. Do not drop it or hit it against any hard

surfaces. Avoid wearing the watch when you play active sports.

VIBRATION

The watch will lose/gain time temporarily when it is subjected to strong vibrations.



CHEMICALS AND GASES

Do not expose the watch to chemicals or gases. If the watch is exposed to solvents such as thinner, benzine, gasoline, nail polish, detergent and adhesives, they may discolor, dissolve or crack the case or bracelet. Take utmost care not to expose the watch to such chemicals. Also, be careful not to expose the watch to mercury from a broken thermometer, etc., as this may discolor the case, dial or bracelet.

CARE OF THE WATCH



- After using the watch in seawater, for example in diving, rinse it in fresh water and wipe it thoroughly dry. Do not use chemicals to wash the watch.
- If the watch has a rotating bezel, clean the bezel regularly. Otherwise, dust will gather under the bezel, causing a malfunction.
- If the watch has a metal bracelet, periodically clean the bracelet with a soft toothbrush or the like soaked in soapy water.

PERIODIC CHECK

It is recommended that the watch be checked once every 2 years. A periodic check will prevent any damage from insufficient lubrication, battery electrolyte leakage, entrance of moisture or perspiration, etc. and ensure longer use. To have it checked, take your watch to the retailer from whom the watch was purchased or a SEIKO DEALER. Your watch will be sent to a SEIKO SERVICE CENTER to undergo a thorough checking work is done. Depending on the result of checking, adjustment or repair may be required.

If the watch has a urethane band, it will lose its elasticity and become hardened gradually over time. In that case, have it replaced with a new one by the retailer from whom the watch was purchased or a SEIKO dealer.

STORAGE OF YOUR WATCH

If the watch is left unused for a long time, wipe off dust, moisture, etc., before putting it away. Do not keep the watch in a place where it is exposed to extremely high or low temperatures or to high humidity.

SPECIFICATIONS

- Vibrations per hour: 28,800
- Loss/gain (daily rate): Within +25 and -15 seconds at normal temperature range (5°C~35°C)
- Driving system: Self-winding type with manual winding mechanism
- Jewels: 25 jewels
- Magnetism-resistant capacity: 4,800A/m (60 gauss, based on JIS-ISO standard)
- Water resistance: 200m water resistant suitable for scuba diving (JIS class 1 Diver's Watch)

7. Casing specifications

- Water resistance
The watch is designed for use in scuba diving using heavy breathing apparatus. It can withstand water pressure to a depth of 200 m, enabling you to enjoy diving for a long time.
- Safety design
The case, bracelet and buckle are rounded to prevent damage to the diving suit or user's skin.

* Due to the mechanism of mechanical watches, actual loss/gain may not fall within the range of time accuracy specified above, depending on the conditions of use, such as whether the watch is wound up fully or not.
* The specifications are subject to change without prior notice, for product improvement.